

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第5区分
【発行日】令和6年7月26日(2024.7.26)

【公開番号】特開2023-169394(P2023-169394A)
【公開日】令和5年11月29日(2023.11.29)
【年通号数】公開公報(特許)2023-224
【出願番号】特願2023-166595(P2023-166595)
【国際特許分類】

A 4 1 D 13/002(2006.01)

A 4 1 D 27/28(2006.01)

【F I】

A 4 1 D 13/002 1 0 5

A 4 1 D 27/28 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月18日(2024.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

通気性のない又は空気導入手段による空気の導入によって膨らませることができる程度の通気性を有する服地によって、少なくとも着用者の胴部を覆う形状に形成された空調衣服の服本体であって、

前記服本体は、前記服本体の裾部に設けられ、前記着用者の身体に密着する空気漏れ防止手段と、

前記着用者の首部に設けられた空気排出部と、

前記服本体の前身頃に位置する第1接続部と、前記服本体の後身頃に位置する第2接続部と、を繋ぐとともに肩近傍の領域に位置する肩掛け部材と、

当該肩掛け部材を所定の位置に保持するための肩掛け部材保持手段と、を備え、

前記肩掛け部材は、前記着用者が当該空調衣服の服本体を着用した状態において前記着用者の右肩の上方を通過する位置と、前記着用者が当該空調衣服の服本体を着用した状態において前記着用者の左肩の上方を通過する位置と、に交差することなく略並行に備えられ

、
前記肩掛け部材の長さは、前記着用者が当該空調衣服の服本体を着用した状態において前記肩掛け部材と対向する、前記第1接続部と前記第2接続部との間の、前記着用者の肩の上方を通過する前記服地の長さよりも短く、

前記肩掛け部材保持手段は、前記服本体の内面側の前記第1接続部及び前記第2接続部とは異なる位置に設けられ、

前記肩掛け部材は、着用者の肩に掛けられた状態で、前記肩掛け部材と、前記肩掛け部材の近傍に位置する前記服地との間に、前記空気導入手段によって導入された空気が流通する流通路を形成されて、前記空気排出部から排出されることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の空調衣服の服本体であって、
前記肩掛け部材は、
帯状又は紐状に形成され、着用者の肩に掛けることができる肩掛けベルトを備えること
を特徴とする。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の空調衣服の服本体であって、
前記肩掛けベルトは、少なくとも一端部の近傍に第1取付部を有し、
前記第1取付部は、前記第1接続部及び／又は前記第2接続部に備えられた第2取付部
と着脱可能であることを特徴とする。

20

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項4に記載の発明は、請求項3に記載の空調衣服の服本体であって、
前記第1取付部及び／又は前記第2取付部は、複数備えられていることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項5に記載の発明は、請求項2から4のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体で
あって、
前記肩掛けベルトは、その長さを変更する長さ調整手段を備えることを特徴とする。

30

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項6に記載の発明は、請求項2から5のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体で
あって、

40

前記肩掛け部材は、前記第2接続部に取り付けられたリング状部材を備え、

前記肩掛けベルトは、前記リング状部材を挿通すると共に、一端部近傍において前身頃
の右側に位置する前記第1接続部に接続され、他端部近傍において前身頃の左側に位置す
る前記第1接続部に接続されることを特徴とする。

【手続補正 8】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項7に記載の発明は、請求項6に記載の空調衣服の服本体であって、
前記リング状部材は、上下方向に取り付け位置を変更可能であることを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項8に記載の発明は、請求項2に記載の空調衣服の服本体であって、
前記第1接続部は、前記服地の外面側に位置し、

前記服本体の前身頃に、前記肩掛けベルトを前記服地の内面側から外面側へと挿通させることができる開口部を備えることを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項9に記載の発明は、請求項2に記載の空調衣服の服本体であって、

前記肩掛けベルトは、

前記第1接続部に接続された第1肩掛けベルトと、

前記第2接続部に接続された第2肩掛けベルトと、

を含み、

前記第1肩掛けベルトと、前記第2肩掛けベルトと、を着脱自在に接続可能であることを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項10に記載の発明は、請求項9に記載の空調衣服の服本体であって、

前記第1肩掛けベルトは、第1取付部を有し、

前記第2肩掛けベルトは、前記第1取付部と着脱可能な第2取付部を有し、

前記第1取付部及び／又は前記第2取付部は、複数備えられていることを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項11に記載の発明は、請求項2から10のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体であって、
前記肩掛け部材保持手段は、前記肩掛けベルトを挿通可能な開孔部を備えること特徴とする。

10

20

30

40

50

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

請求項 1 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の空調衣服の服本体であって、

前記肩掛け部材は、メッシュ状部材によって、着用者の胴体上部を覆うように形成されていることを特徴とする。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

請求項 1 3 に記載の発明は、請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体であって、

前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部の近傍に、着用者の胴部と前記服地との間隔を確保するスペーサを備えることを特徴とする。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

請求項 1 4 に記載の発明は、請求項 1 から 1 3 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体であって、

前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部は、前記服地の縫製ラインと重なり、

前記肩掛け部材は、前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部において、前記服地に縫合されていることを特徴とする。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

請求項 1 5 に記載の発明は、空調衣服であって、

請求項 1 から 1 4 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体と、

前記空調衣服の服本体の内部に空気を導入する空気導入手段と、

前記空気導入手段に電力を供給する電源手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通気性のない又は空気導入手段による空気の導入によって膨らませることができる程度の通気性を有する服地によって、少なくとも着用者の胴部を覆う形状に形成された空調衣

10

20

30

40

50

服の服本体であって、

前記服本体は、前記服本体の裾部に設けられ、前記着用者の身体に密着する空気漏れ防止手段と、

前記着用者の首部に設けられた空気排出部と、

前記服本体の前身頃に位置する第 1 接続部と、前記服本体の後身頃に位置する第 2 接続部と、を繋ぐとともに肩近傍の領域に位置する肩掛け部材と、

当該肩掛け部材を所定の位置に保持するための肩掛け部材保持手段と、を備え、

前記肩掛け部材は、前記着用者が当該空調衣服の服本体を着用した状態において前記着用者の右肩の上方を通過する位置と、前記着用者が当該空調衣服の服本体を着用した状態において前記着用者の左肩の上方を通過する位置と、に交差することなく略並行に備えられ

10

、
前記肩掛け部材の長さは、前記着用者が当該空調衣服の服本体を着用した状態において前記肩掛け部材と対向する、前記第 1 接続部と前記第 2 接続部との間の、前記着用者の肩の上方を通過する前記服地の長さよりも短く、

前記肩掛け部材保持手段は、前記服本体の内面側の前記第 1 接続部及び前記第 2 接続部とは異なる位置に設けられ、

前記肩掛け部材は、着用者の肩に掛けられた状態で、前記肩掛け部材と、前記肩掛け部材の近傍に位置する前記服地との間に、前記空気導入手段によって導入された空気が流通する流通路を形成されて、前記空気排出部から排出されることを特徴とする空調衣服の服本体。

20

【請求項 2】

前記肩掛け部材は、

帯状又は紐状に形成され、着用者の肩に掛けることができる肩掛けベルトを備えることを特徴とする請求項 1 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 3】

前記肩掛けベルトは、少なくとも一端部の近傍に第 1 取付部を有し、

前記第 1 取付部は、前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部に備えられた第 2 取付部と着脱可能であることを特徴とする請求項 2 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 4】

前記第 1 取付部及び／又は前記第 2 取付部は、複数備えられていることを特徴とする請求項 3 に記載の空調衣服の服本体。

30

【請求項 5】

前記肩掛けベルトは、その長さを変更する長さ調整手段を備えることを特徴とする請求項 2 から 4 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 6】

前記肩掛け部材は、前記第 2 接続部に取り付けられたリング状部材を備え、

前記肩掛けベルトは、前記リング状部材を挿通すると共に、一端部近傍において前身頃の右側に位置する前記第 1 接続部に接続され、他端部近傍において前身頃の左側に位置する前記第 1 接続部に接続されることを特徴とする請求項 2 から 5 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体。

40

【請求項 7】

前記リング状部材は、上下方向に取り付け位置を変更可能であることを特徴とする請求項 6 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 8】

前記第 1 接続部は、前記服地の外面側に位置し、

前記服本体の前身頃に、前記肩掛けベルトを前記服地の内面側から外面側へと挿通させることができる開口部を備えることを特徴とする請求項 2 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 9】

前記肩掛けベルトは、

前記第 1 接続部に接続された第 1 肩掛けベルトと、

50

前記第 2 接続部に接続された第 2 肩掛けベルトと、
を含み、

前記第 1 肩掛けベルトと、前記第 2 肩掛けベルトと、を着脱自在に接続可能であることを特徴とする請求項 2 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 10】

前記第 1 肩掛けベルトは、第 1 取付部を有し、

前記第 2 肩掛けベルトは、前記第 1 取付部と着脱可能な第 2 取付部を有し、

前記第 1 取付部及び／又は前記第 2 取付部は、複数備えられていることを特徴とする請求項 9 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 11】

前記肩掛け部材保持手段は、前記肩掛けベルトを挿通可能な開孔部を備えること特徴とする請求項 2 から 10 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 12】

前記肩掛け部材は、メッシュ状部材によって、着用者の胴体上部を覆うように形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 13】

前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部の近傍に、着用者の胴部と前記服地との間隔を確保するスペーサを備えることを特徴とする請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 14】

前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部は、前記服地の縫製ラインと重なり、

前記肩掛け部材は、前記第 1 接続部及び／又は前記第 2 接続部において、前記服地に縫合されていることを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体。

【請求項 15】

請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の空調衣服の服本体と、

前記空調衣服の服本体の内部に空気を導入する空気導入手段と、

前記空気導入手段に電力を供給する電源手段と、

を備えることを特徴とする空調衣服。

10

20

30

40

50